新京日日新聞
夕刊
十一月十八日
發行所 新京日日新聞社
發行人 十河榮忠
編輯人 松本勇
印刷人 永越内之介

對英第二段折衝後 會議は愈よ本筋へ

松平、山本兩代表吉田大使協議

＝海軍豫備會商＝

【ロンドン十七日發國通】松平、山本兩代表は吉田大使をも交へて帝國政府からの訓令を中心に十七日午前より午後二時に至るまでぶつ通しで對策協議を續け第二段の對英折衝に萬全の方策を講じた、他方松平大使は加藤參事官を英外務省に派遣し、クレーギー參事官と面會、訓令到着の旨を傳へ成るべく早く會談を行ひ度き旨申入れたが、サイモン外相不在のため會談日取は決定に至らなかつた、多分十九日午前に打合せ午後會談が行はれる見込で、斯くて會談は愈々本筋に入ることゝなつた

實質的海軍平等の 必然性を說く

訓令内容と我が代表部の態度

【ロンドン十七日發國通】本國政府からの訓令到着と共に日本代表部は緊張し松平、山本兩代表は前後三時間に亘つて

＝協議＝を遂げた訓令の内容は二項よりなり帝國政府不動の精神を表明したものであるが特に英國政府の妥協試案が日本政府の既定方針にそぐはない點を指摘し受諾し難き事も述べて當初の訓令通り更に帝國政府の主張貫徹に努力すべきことを指令してゐる、但し英國政府が平等原則を認めやうとする點をとらへ右事實を基礎に更に折衝を進めんことを要請してゐる、右訓令の趣旨は松平山本兩代表の意中と一致してゐるので兩代表とも決意を新たにし帝國政府の主張貫徹のため最善の方策を決定する筈である、おそらく英國政府に對し印刷物を提出し英國政府の示唆した原則上の軍備均等が當然實質的平等にまで展開さるべき論理的必然性を主張しあくまで政府の方針を貫徹するものと解される、英國政府代表との

＝會談＝は來週匆々となる見込であるが代表部では本國政府よりの回訓に勇躍對策を練つてゐる

十一月中對滿支 貿易概算

【東京國通】大藏省發表、十一月中對滿洲國、關東州、中華民國及び香港貿易概算左の如し（單位千圓）

輸出	五九、五六九
輸入	二二、七五八
計	八二、三二七

十一月に於ける日本對滿洲國關東州、中華民國及び香港貿易は右の如く前月同期に比し輸出は一千九百萬三千圓（四割六分八厘）を增加、輸入は却つて百十八萬二千圓（五分二厘）を減少し輸出入合計に於て一千七百八十二萬一千圓（二割一分六厘）の增加となり、而して一月以降の出超額は二億三十四萬二千圓となり前年同期に比し六千六百九十八萬圓の出超增加である

ソ聯で 財産の貯蓄と 相續を許可

世界赤化の心臓、モスコーから歸つた某旅行者はモスコーの近況を左の如く語つた

モスコー政府は最近比較的好條件の下に財産の貯蓄及び相續を許可したが、これは共産主義社會制度の本質から脱却したものであつて世界の現勢下にあつて共産主義が如何に矛盾を招來しつゝあるかを物語つてゐる赤い宮殿クレムリンの赤い壁は十月革命以來風雨のため色が褪めてしまつたのでこの程塗り替へをやつたが最近のソ聯の外交政策も塗替へを必要とされてゐるので、この赤い宮殿塗替へを皮肉の眼で見てゐる人もかなりあるらしい、モスコー及び各地大都市のホテルは從來國營であつたが最近政府は政府監督の下に個人經營を許可することゝなつたいづれもソ聯當局の苦衷が察せられるものばかりだ

『司法權獨立のため 默つて居れぬ』 ＝威猛高の小川平吉氏＝

【東京國通】判決言渡後小川平吉氏は語る

政黨の爭ひからかゝる結果になつたものを有罪とは心外だ、事實の說明あつたが證據の理由說明なき故立つたわけだ、省略とは何事だ我司法權獨立のため默つて居れぬ

赤化完成せる 新疆地方の現情勢と 新疆ソ聯共和國獨立

支那本部と外蒙古の間に介在する新疆省は支那の領土でありながら南京政府の威令全く行はれず最近ではソ聯の勢力圏内に掌握されソヴエート化が完成されたと傳へられてゐる、過去數年間新疆地方は英國とソ聯邦の勢力角逐せる舞台であつて民族宗教の多樣性を基因として内部闘爭が激成され遂に内亂を現出するに至り未だ鎭靜されてゐないが英ソ兩國間の軋轢は宗教に對する民族的敵意を利用して民族支配權を把握せんと企圖ソ聯勢力の增大に伴つて漸次英國の勢力は驅逐されつゝあり、最近では新疆全省の赤化は略完成したものと觀られてゐる現在同地方における活動分子は青年マホメット教徒にして「マホメット教民族聯盟」を組織し新疆ソヴエート共和國の獨立をスローガンとして日常闘爭を闘つてゐるが實際にマホメット教民族聯盟は獨立管理を敢行してゐる、南京政府から任命された新疆省々長沈石財は文字通りソ聯共産黨の傀儡であつてソ聯の勝利はソ聯邦トルキスタン地方から新疆省へ武器彈藥その他の軍需品の隊商が頻繁に往來せる事實によつて實證されてゐる、ソ聯政府の意圖は新疆ソヴエート共和國を結成せしめて「外蒙古獨立共和國」のやうにソヴエート、ロシア共和國聯邦の構成要素とせんとするにあると思惟されるが、ソ聯の意圖が達成された曉は亞細亞の一脅威となるものとみられる、共産主義は亞細亞大陸に一歩近づかんとしてゐる新疆省を通じて亞細亞大陸における共産主義運動との關聯は注目に價する

世界一に肉迫する 日本の人絹生産高

アメリカとの差はほんの僅か

【ロンドン十六日發國通】本年第三期七月より九月迄に於ける世界人絹生産高は一億九千六百八十一萬ポンドで之を昨年同期の一億六千五百七十五萬ポンドに比すると三千百六萬ポンドの增加を見せて居る、之を國別に見るとアメリカは依然世界第一位を占めて居るが昨年同期より三百十七萬ポンドを減少して居る然るに日本は昨年同期に比し一千五百八十六萬ポンドの激增を示して四千萬ポンドを突破アメリカに肉迫して居る、この外イタリー、ドイツ、フランスも增産は續けて居るがイギリスは昨年同期より減少を示して居る、本年第三期の各國生産高左の通りである

アメリカ	四千五百五十四萬圓
日本	四千二百萬圓
イタリー	二千七百四十六萬圓
ドイツ	二千三百三十二萬圓
イギリス	二千百四十九萬圓
フランス	一千九百八十萬圓
世界合計	一億九千六百八十一萬圓

日蘭双方 回訓を待つ

【バタビア十七日發國通】日蘭會商は今や數字的具體案を双方より提示の外なき情勢で双方が回訓を待つてゐる、輸出問題解決の鍵は砂糖問題であり、日本側は蘭印側より討議の基礎となり得べき案の提示を待つてゐるが提示されゝば日本よりどれだけ買付け出來るかを提示する段取である輸入問題は双方の主張に相當の開きがあり、海運問題は日本側の强硬決意を蘭印側も理解した爲か神戸會商に委せる形勢が有力である、會商の前途は樂觀を許さず越田、ヘルデレン兩氏の私的會談の一段落のつく來月中旬に再度決裂の危機に逢着するものと見られる

桐生失態事件で 内相辭職か

還幸後一切の處置行はれん

【東京國通】後藤内相は十七日 天皇陛下還幸に供奉し任務を果した上直ちに岡田首相を訪問し桐生失態事件を報告引責決意を表明すべきかを相談する模樣であるが内相は恐らく事件重大性に鑑み辭表提出するだらうと見られ、又金澤知事は還幸を待ち後藤内相へ正式辭表を提出し恐らく受理されその他の首腦部及び當該者の處置も行はれるものと見られて居る

本田警部 自殺を圖る

【前橋國通】聖上陛下の桐生市行幸の御砌り鹵簿の前驅を拜命し御順路を誤つた問題の人群馬縣警部本田重平氏は責任の重大なるを痛感し自宅に引籠り謹慎中であつたが十八日午前九時八分 聖上陛下前橋御發車の花火の音を合圖に短刀を以て己が頸動脈を切斷自殺を圖り家人が發見手當中であるが生命危篤である

申報社長 後任決定か

【上海十七日發國通】暗殺された史量才氏の跡を受けて申報、新聞報兩大新聞の經營に當るべき人物に就いては目下のところ申時通信社長杜再生及び申報の前主筆陳冷血兩氏が世評に上つて居るが信ずべき筋の情報によると去る十六日史量才氏の知己先輩等は故人の靈前に會議を開き兩新聞總經理として陳冷血を迎へる事に決定した模樣である、陳氏は現在蔣介石の秘書として常に身邊にあり從つて同氏の總經理就任が實現せば從來自由主義に立籠つて居た同新聞は急速にファッショ化する事を免れまいと觀られて居る

滿鐵計畫部 及び中試の 職制改革

【大連國通】滿洲の情勢一變と共に滿洲の地方埋藏資源の開發及び各資源の企業化は相次いで行はれ、之等は主として滿鐵計畫部並に中央試驗所に於て立案研究されてゐるが滿鐵では更に之を助長擴大するため計畫部及び中央試驗所の職制を一部改廢した、即ち計畫部に於ては純アルミニューム試驗工場が計畫部直屬となると共に部内の製品調査係を廢してアルミニューム工業係を置き專らアルミ工業の立案企業並に試驗工場との連絡に任じ、中央試驗所に於ては庶務長を置く外新たに調査者研究分析室を設け資源開發上の調査研究を行ふこととなつた、右による人事は十七日附左の如く發表された

計畫部業務課事務員 中島四郎
命アルミニューム工業係主任
中央試驗所庶務係主任 事務員 今西貫治
命中央試驗所庶務長
中央試驗所技術員 廣田虎雄
命同調査室主任

庫倫サンベース間の 鐵道完成を急ぐ

最近達した情報によれば最近完全にサヴエートの勢力下に掌握されてゐる外蒙古獨立共和國の中心都市庫倫と東部蒙古の重要地サンベースをつなぐ軍用鐵道の敷設を企圖したソ聯政府では同地方一帶の地質が砂土にして建設困難なため一時工事を中止したが、最近モスコー政府より「同鐵道の敷設工事を即時完成すべし」との指令によつて當局者は直に强制勞働者を動員して建設工事に着手した

國營バス 本年度豫定線

治安維持と産業開發は先づ交通網の充實からをモットーとして主要道路の完成を急ぎつゝあつた滿洲國では最近之が略々完成の域に達したので愈々國營バス網を全滿に張り廻らすことになり去る十一日交通部令を以て左の新線を本年度運行豫定線に指定し其の經營を滿鐵に委託する（鐵路總局直營）旨發表した

略號	路線名	經過地名	粁程
一	大石橋—大孤山	岫巖、阿家堡子	（一七一）
二	通化—輯安	二道威子、大平溝	（九四）
三	通化—臨江	鐵廠子、八道江	（一九四）
四	通化—桓仁	快當帽子、雙嶺子	（一〇一）
五	琿春—綏芬河	土門子、東寧	（二九七、一）
六	東寧—寧安	屯田營、二道河	（二一〇）
七	東寧—穆稜	萬鹿溝	（一七〇）
八	海林—綏芬河	穆稜	（一六八）
九	穆稜—虎林	密山	（三九一）
一〇	依蘭—密山	土龍山、勃利	（三五五）
一一	佳木斯—依蘭		（八五）
一二	奇克特—二站	孫河	（一五〇）
一三	嫩江—大黒河	哈師太屯	（二六六、四）
一四	昂々溪—巴林	チチハル、甘南、札蘭屯	（二二五）
一五	海拉爾—將軍廟	廣慧寺、延禧寺、索倫左旗、新巴爾虎左翼旗	（一七九）
一六	扶餘—兆南	大、安廣	（二〇一）
一七	兆南—突泉		（一〇〇）
一八	通遼—經棚	開魯、天山、林東、林西	（五六六）
一九	林西—赤峰	ハバチル、土城子	（一四三）
二〇	開魯—赤峰	ズルタイ廟、五十家子廟	（二九〇）
二一	承德—豐寧	曲家灣子、灤平	（五〇）
二二	凌源—綏中	凌南	（一八八）

右延長路線は四千五百三十九キロに當り既開通路たる安東城子疃間（二一四キロ）北票承德赤峰朝陽間（七七五キロ）山城鎭通化間（一四五キロ）新京扶餘間（一六六キロ）敦化海林間（二三〇キロ）訥河黒河間（三三〇キロ）懷遠鎭索倫間（一一五キロ）呼蘭同江間（六三六キロ）奉天撫順間（四三キロ）を通算するときは滿洲國土の周圍七千八百九十キロより遙かに多き八千百八十キロに當る

人事往來

▲平田驥一郎氏（鐵路總局）十七日午前十時着奉天から大和ホテル投宿
▲奥平廣敏氏（ハルピン取引所長）十七日午後三時着ハルピンから大和ホテル投宿
▲福原耕一氏（大阪鐵管商）同上
▲鷲山義直氏（會社員）十七日午後五時三十分着奉天から大和ホテル投宿
▲富田嘉次氏（滿鐵社員）十七日午前九時着大連から大和ホテル投宿
▲旭寛良氏（滿鐵社員）同上
▲谷豐治氏（メリヤス商）同上
▲山内豐四郎氏（貿易商）十八日午前十時發大連へ
▲豐田節三氏（會社員）十七日午後二時着大連から名古屋ホテル投宿
▲安永留吉氏（毛織物商）十七日午前十時着ハルビンから名古屋ホテル投宿十八日午前十時發奉天へ
▲中山庄司氏（大阪大東商店員）十七日午前八時着奉天から名古屋ホテル投宿
▲田島嘉藏氏（會社員）十七日午後五時着大連から名古屋ホテル投宿
▲禰宜田芳一氏（和洋品食料品御問屋）十七日午後十一時着大連から名古屋ホテル投宿
▲石井勇氏（食料品商）十七日午後八時着大連から名古屋ホテル投宿
▲坪川興吉氏（奉天省教育廳總務科長）十七日午後十一時發吉林へ
▲中村國治氏（輸出入商）十七日午前十時發大連へ
▲齋藤勇藏氏（官吏）十七日午後十一時發奉天へ

滿洲國辭令

哈爾濱特別市公署事務官 千葉良一郎
同 任承元
同 楊[?]
同 呂博泉
同 朱赤陽
給五級俸（各通）
哈爾濱特別市公署事務官 瀨尾陸太郎
同 陳鐘
給六級俸（各通）
哈爾濱特別市公署行政處長 李叔平
給一級俸
哈爾濱特別市公署技正 植村秀一
給月俸四百二十圓
哈爾濱特別市公署技佐 秋山治郎
給月俸三百十五圓
哈爾濱特別市公署理事官 郭文
給六級俸
哈爾濱特別市公署行政處勤務を命ず
哈爾濱特別市公署技佐 大人榮次郎
給五級俸
哈爾濱特別市公署行政處勤務を命ず

哈爾濱特別市公署事務官 邊樹藩
給三級俸
哈爾濱特別市公署事務官 柳田桃太郎
同 唐恒序
給五級俸（各通）
哈爾濱特別市公署技佐 李東園
給四級俸
哈爾濱特別市公署行政處勤務を命ず
哈爾濱特別市公署事務官 李世禎
給五級俸
哈爾濱特別市公署事務官 王綿
給六級俸
哈爾濱特別市公署技正 梅津理次
同 沼田征矢雄
給一級俸（各通）
哈爾濱特別市公署技正 郭則溉
給四級俸
哈爾濱特別市公署技佐 山崎桂一
給二級俸
哈爾濱特別市公署工務處勤務を命ず
哈爾濱特別市公署技佐 鈴木新吉
給三級俸
哈爾濱特別市公署工務處勤務を命ず

哈爾濱特別市公署理事官 木村賀七
給七級俸
哈爾濱特別市公署工務處勤務を命ず
哈爾濱特別市公署技佐 小海鼎
同 羅孝然
給三級俸
哈爾濱特別市公署工務處勤務を命ず（各通）
哈爾濱特別市公署事務官 趙葵生
給五級俸
哈爾濱特別市公署財務處長 高恩濤
給一級俸
哈爾濱特別市公署理事官 望月貞藏
給六級俸
哈爾濱特別市公署財務處勤務を命ず
哈爾濱特別市公署事務官 張煥青
給二級俸
哈爾濱特別市公署事務官 許永銘
同 劉鐘祺
給三級俸（各通）
哈爾濱特別市公署事務官 習克欽
給五級俸
哈爾濱特別市公署事務官 朱德培

給四級俸
哈爾濱特別市公署事務官 劉[?]
同 張四維
給六級俸（各通）
民政部事務官 桑名稠男
給九級俸
民政部總務司勤務を命ず
交通部事務官 金丸德重
給七級俸
交通部郵務司勤務を命ず
實業部理事官 山本茂
給三級俸
實業部工商司勤務を命ず
實業部理事官 美濃部洋次
給五級俸
實業部總務司勤務を命ず
商標局理事官 高橋哲
給七級俸
權度局理事官 風早義確
給六級俸
國道局哈爾濱建設處長 相馬龍雄
給一級俸
熱河省公署理事官 [?]麟
給一級俸
熱河省公署實業廳長心得を命ず
熱河省公署理事官 恩麟
熱河省公署民政廳長心得を命ず

■■女八人感激時代■■

最後の切札八枚

（合作）柳咲子……峯吟子　大林梅子……若水絹子　澤蘭子……夏川靜江　木下双葉……飯田蝶子（挿畫 大附彦丈畫）

（（禁上映上演轉載））

9 ＝戀愛遊戲（ラブプレイ）＝ ……スッカリ憂鬱　澤蘭子作

「全くだわ。同伴席なんかヘチャッカリおさまつちまつて……スッカリ見せつけられてやつたんだもの。その支拂ひをしなきや厭いわ……」

美保子は、何か、クスグッたい氣持になつてゐました。そして、ふたりとも、實際に、陸一を華族のお坊ちやんだと思ひ込み、自分の戀人だと思ひ込んでゐるのかとおもふと、そのトリックに、十分引つかゝつてゐるのが何分愉快でたまらないのでした。そして、その一方の氣持では、何だか、實際に自分が戀人同士で來てゐて、晴枝とかほるの前に充分見せつけてやつたやうな、何ともいへない快感をおぼえてゐたのです。

かほると晴枝は、一寸、立どまると何か私語いて

「おい、キミ！一體どうすンのよ」

「何が？」

「何がつて、こゝの廊下を、落しものでもしたやうに、行つたり來たりしてたつて、凡そ意味ないネ」

「ぢや、戻りませうよ」

「チエッ、キミ！そんなに戀の傍へ行きたい？」

「ぢや、ないわ」

「だつたら、なンか奢るのよ」

さうして、結局、ケーキと紅茶ぐらゐで美保子はお茶を濁さうとしたのですが、かほると晴枝も、そんなことぐらゐで、アウトするふたりではなかつたのです。

「ボク、スッカリ憂鬱になつちまつたわ」

「まつたく！」

二

晴枝とかほるの二人は、月曜日の朝、學校の教室へ入るとすぐ、兩手で、頭をかゝへるやうにして、机の上へおさまつてしまつたのです。

いつもは、人一倍元氣のよいこの二人ですが、今日は、珍しく憂鬱だなんていふものですから、クラスの者達は、皆んな興味をもつて集つて來ました。

「キミ！何故憂鬱なのよ？」

「なンか、あつたンぢやない」

「斷然、しほれてるわネ」

二三人の者が、かほると晴枝に顏を近づけて云ひました。ふたり共、返事をしやうともしないのです。

「どうかしてンのよ。二人とも……」

「道理で、お天氣が變つたと思つたわ」

その背後にゐた者達も、かう云つて二人の變つた樣子を眺めてゐました。

そして、クラスメイトの質問は、矢のやうに、ふたりの頭の上を襲ひました。晴枝とかほるの憂鬱の原因となつてゐる、肝腎の美保子は、まだ姿を見せなかつたのです。

「何が、彼女達を憂鬱にしたか、ひなさいよ」

「キミ！沈默してないで、云ツて、ネ？」

そこで、かほるが泣き出しさうな顏をして云ひました。

「何がッてミス、ミホコそりやスゲエのよ！」

「ま、美保ちやんが？……」

「えゝ、何しろ、アリストクラシーでネ」

すると、晴枝も

「トテモ、あてられちやつたの！」

中銀印刷處不正事件 收賄金隱匿が暴露

井上會計科長宅搜査の結果 憲兵隊の追究急

滿洲國中央銀行印刷處にからまる新葉處長、井上會計科長佐伯總務科長の不當見積による收賄事件はその後新京憲兵隊本部特高課で峻烈な取調べを行つた結果新葉か收賄した現金九千圓余（一部）を井上會計科長が預かり自宅に隱匿してゐるを自白したので同隊では十七日井上の自宅である大和通五十番地の三を襲ひ家宅搜査を行つた上右金額を押收したので同金額を新葉に突付け嚴重取調べる事となつた

志摩海軍大佐 けさ出發赴任

前軍政部顧問海軍大佐志摩淸英氏は今度の異動で軍令部に轉任、十八日午前十時發あじあで赴任した、驛頭には西尾岡村關東軍正副參謀長、小林前駐滿海軍部司令官、石丸侍從武官、筑紫參議、張軍政部大臣、遠藤總務廳長、吉澤總領事その他多數見送りがあつた

年末僞記者防止の總覽を發行

新聞解放中村氏の新計畫

歳末が近づくと新聞雜誌の僞記者が横行する、之が防止の參考書として全滿新聞通信雜誌總覽を例年發行する新聞解放中村明星氏は本年度十一月現在新京に常住本業とする同業者の名簿を作製すべく調査中である、新聞紙法に依る同業支局は至急申込がよい編纂所は大連市彌生町一四新聞解放社

公主嶺支部武道大會

帝國在郷軍人會公主嶺支部第一回武道大會は十八日午前九時三十分から新京商業學校講堂で開催された參加者は新京第一、二、三、四、五公主嶺吉林、敦化、范家屯、鞍河郭家店の十一分會、銃劍術六十五名、劍術二十名、勅語奉讀の後試合に移り本間支部長を始め小林大佐、小川少佐、内少佐その他多數の來賓列山席會員も二百余名出席し、一般の參觀者もあり午後四時盛會裡に終了した

國都建設局員 泥醉檢束さる

滿洲國國都建設局土木課勤務小池一（二三）は十七日午後九時三十分ごろ泥醉の末刃渡五寸の出刃庖丁を引提げ祝町二丁目十七番地カフエーキングに乘込むがはやいかボツクスに突射し女給勝子こと佐藤ハル子（三〇）を呼ひ寄せ酒肴を要求したが應じなかつたところ更に庖丁を振り廻はしたので危險とみて要求の酒肴四圓五十錢を運ぶや三十分余で飲酒した後未拂のまゝ逃走せんとしたので直に日本橋通警察官派出所に屆出たので檢束された

田中製靴の井上 前科二犯

新京署の指名手配で大連署に檢擧された日本橋通田中製靴商方外交員田島伊佐美（三七）の身柄は十七日井上刑事が連行し取調べると前科二犯の强か者と判明した

謝外交部大臣 十二月一日新京發

滿洲國外交部大臣謝介石氏は來る十二月一日午前十時發アジアで郷里台灣に錦を飾ることゝなつた、一行は大臣以下家族及び秘書官勝田寛直氏ら二十余名で大連に一泊、二日出帆のうすりい丸で門司に向ひ、門司から便船で渡台するはずで、明年二月一日ごろ歸京の豫定である

新京署員 東北義捐金

東北地方凶作義捐金として新京署全員は六百七十一圓五十錢を集め十七日送金した

開魯附近にペスト發生

【チチハル國通】十七日兆南鐵路局着入電に依れば開魯縣城南方五滿里の部落に本月九日迄に六名のペスト患者發生し同部落民四十八名は隔離收容を恐れて全部何れかへ逃亡したので通遼では開魯との交通を禁止したと

興安嶺頂上で國道局員匪賊と交戰

【チチハル國通】本日當地着情報によれば愛琿訥河間の國道局員及び警備隊三十名が自動車に分乘黑河に向ふ途中十二日午前九時頃興安嶺の頂上に差しかかるや突如白樺の密林の中より匪賊六十の猛射を受けたのでこれに交戰急報により二站より來援せる江省軍と協力激戰二時間の後これを擊滅したこの戰鬪に於て國道局訥河出張所員以田煤吉氏は胸部に貫通銃創を負つた

吉野町の小火

十八日午前二時ごろ吉野町一丁目二十一番地杏林堂醫院物置から出火し木造建二坪を全燒した、急報に接し新京消防隊員がかけつけ消火に努めた結果同二十分鎭火した、損害五十圓、原因石炭の殘灰から

赤十字社の招宴

十五日から三日間行はれた赤十字デーも無事終了したので日本赤十字社新京支部では十七日午後六時から賓宴樓に各方面の人々を招待して宴を張つたが參會者六十餘名吉澤委員長の挨拶に對し塚本新京醫院長一同に代つて謝辭を述べ和氣靄々の裡に宴を終つて同八時すぎ散會した

大同報新築披露

新京特別市六馬路の一角に新屋を新築した大同報社では十七日午後六時から附屬地益與樓飯店に日滿各界の人々百余名を招待披露を行つたが社長王光烈氏の挨拶、來賓代表丁交通部大臣の祝辭があり、同氏の音頭で大同報萬歲を唱和し閉宴非常な盛會であつた

國都ホテルグリルルーム改造 和食部新設

新京中央通國都ホテルグリルルームは最近和食部新設の爲め内部改造に數萬圓を投じ材料一切は内地産を用ひ大林組直營で内外木材工藝株式會社にて引受晝夜兼行で工事の進捗を計つて居るが同設備は最新を極めたるものにて十二月初旬頃までには開設の運びに至るであらうと

キカワ洋服店 三周年記念賣出

キカワ洋服店は開業三周年を迎へ記念謝恩として二十日より十二月五日まで市價八十五圓のモーニングを五十着限り特價六十圓にて賣出す由いよいよ新年も近く好評を博するであらう

盜難屆

▲大和通十七番地飲食店正宗ホールこと楠ツタさん方、十七日午前八時から同九時の間何者か侵入し店先においてあつた蓄音機一台中古品時價三十圓を窃取された

明日

△密柑の皮利用洗濯講習會 十九日午前九時から露月町家事講習所、講師は修養團講師吉川成圓氏、會費一般三十錢（白菊會主催）

嬉しい話題 滿鐵のボーナス 昨年と同額

最高は三十割見當 各係で一齊に成績を調査

十二月も近づくと早くもサラリーマンにはお待ち兼ねのボーナスの噂で各官廳、會社、銀行の食堂は大賑ひだ、はて今年のボーナスはどんなものだらうと一ケ月いや數ケ月も前から想像を逞うして、いざ手渡されて見ると右から左へ殘るところがないといふのは大底俸給取の生活だが、さて滿鐵方面の本年末賞與につき關係筋について聞いて見るとその額は昨年と大体變りなく地方部關係では月俸者はいづれも本俸の最低二十割から最高三十割、日給者は最低三十日分から最高四十日分の見當らしい、地方事務所では目下各所員の成績について月俸者雇傭員の兩種に別け最高百點を單位として調査中で月俸者は二十日まで、雇傭員は本月二十五日まで各係長から庶務係長まで報告することになつてゐる、なほ交付は來月十四五日頃の見込である

暖かつたのも束の間 本格的の寒さ

寒波が押し寄せそう

こゝ數日の狂ひ天候の後をうけて今朝來本調子の寒さが訪れて市民をひつくりさせた、朝六時ごろの最低氣溫が零下八度二分それでも今年の

＝最低＝はさる十四日の零下九度三分からみると一度の差はある、十一月になつて六日間は非常に暖かで五日の如きは例年五日の平均氣溫より九度七分高で七日から十五日までは零下二度、三度を上下して例年と似たり寄つたりの氣溫であつた十六、十七の兩日は稀にみる暖かさで十七日の最高氣溫が十三度四分例年より十度位高かつた、別に珍しい程ではない、十一月中の最低氣溫は大正十二年の零下二十五度四分で、暖かつた後には寒波といつて嚴寒はよく來る、恰度三年前三間房の戰鬪で多門師團がチチハルに入城前は非常に暖かく入城してから急に寒くなつて凍傷が出來たのも恰度三年前の今月今日ごろであつた、昨日の風は風速八メートル位であつたがこれは北滿に

＝優勢＝な低氣壓が東進したゝめ起つた風でその背後から優勢な高氣壓が押かけ寒波となつてけふから寒さが增したものでこゝ數日は氣溫も降るだらうと

寒風をついてけふ戸外デー

寶探しも大人氣

多期は戸外へ－地方事務所主催の戸外デーは十八日西公園で行はれ折からの嚴寒も尻目に市民は公園へ、公園へ、と押寄せた、正午から行はれた寶探しも興を添へ午後一時散會した

神戸の千萬長者 吳氏は日本人か？

【神戸國通】神戸在住の支那人千萬長者吳啓藩（三九）こそ「私が三十九年前生んだ子供に違ひない」と一日本婦人が名乘を上げ國際港都に大きな話題を投げかけ傳記的興味を呼んで居る、神戸市湊東區多門通一丁目三番地鶴屋旅館女將寺田リキ（五七）さんが中井、岡部兩辯護士を代理人として吳啓藩氏を相手どり親子關係確認請求訴訟を十七日神戸地方裁判所に提起した、即ちリキさんは明治二十七、八年頃十六歲の時故藪橋增太郎子と同棲十八歲の時一子故吉を生んだが間もなく生活苦の爲め藪橋へ故吉を託して別れたその後增太郎故吉親子は裏店暮しの窮迫した生活を送つて居たが故吉は九歲の時明治三十六年七月當時三宮附近に住む支那人の豪商吳錦堂氏の使用人廣東省生れ黃聖禱氏の養子に貰はれ國籍を失つたその後故吉は養父と共に吳の屋敷に暮して居たが明治三十七年吳が日本人歸化の許可を受けると同時に故吉は吳氏の長男に入籍吳啓藩と改名して裏店の少年は一躍して大幸福運と榮華を約束され今日に至つたと云ふ話である、吳は親

在尼ケ崎で東亞セメントを經營し千萬長者として知られて居るが吳啓藩氏はこの問題に關し絕對に面會を避け沈默を守つて居る

友邦建國の 人柱に散つた同胞の魂を求めて（六）

小合隆の游動警察隊弔合戰 小野田、鈴木兩君の死

大同二年九月四日小合隆警察署から「寬城子の西北方約五キロの地點四間房附近の高粱畑中に約四十名の匪賊蕃居し自衞團は目下包圍しつゝある至急應援を乞ふ」との報に接した新京游動隊は大同元年三月農安縣牛酒屋子に於て

＝壯烈＝な戰死を遂げた同隊故田中警佐以下四隊員の復讐の期至れりと松下副隊長は前衞隊長、第一小隊、トラツク、迫擊砲分隊及び本隊を指揮して勇躍現地に急行した、救援隊が同日午後四時四十分四間房に到着した時は既に自衞團は小流を挾んで匪首雙的好の匪賊約五十と對峙、攻擊を開始し銃聲各所にあがつてゐた、匪賊は頑强に抵抗を續け、繁茂せる高粱畑中に據を構開、占據して退却する模樣全く無く、わが隊は畑中に潜伏せる匪賊を據より脫出せしめ、而る後これに猛射を浴せ殲滅することに決し、先づ輕機關銃分隊と小銃分隊を四間房南側に敵陣地右翼小流彼岸に同じく小銃、輕機關銃各一分隊を配置し、擲彈筒二筒及び迫擊砲をもつて猛烈なる射擊を開始したが、敵匪の攻擊力意外に强く更に退却の色なきをもつて遂に兩擲彈筒を第一線、敵前三十米の地點に前進せしめ肉迫した、一彈又一彈適確に壕内に命中する、その度毎にごう然たる音響と共に匪賊の手足がもぎとられた手足が高粱の上高く舞上る、正に戰爭映畫さながらのシーンだ、さしも

＝頑强＝だつた匪賊も今はこれまでと壕内深く潜入全く沈默して銃聲は絕えてしまつた、時に十五夜の明月東天に高く高粱の穗波は皎々たる月光を浴びて淒愴の氣は戰場一帶に漲つてゐる、敵陣寂として聲なく死せるものゝ如し、この時松下隊長は突擊敢行を決意し輕機、小銃各一分隊をして退路を斷たしめ、殘餘の隊員を集結、高粱畑内を掃蕩するため猛然と突擊した、敵前十米の地點に到るや突如壕内より猛烈なる小銃及び拳銃彈は亂射された、一彈飛び來つて小野田警長の左大腿部を貫通した、これに屈せず更に突進せんとした時またも一彈うなりを立てて右耳下を貫いた、「殘念」と叫んだ小野田隊員はその場にどつと打ち倒れ名譽の戰死を遂げた、小野田隊員の殉死を眼の前に見せつけられた鈴木隊員は「やつたな」と大聲をあげたと思ふや奮然單身敵陣地に突入した、續く隊員が瞬間「アツ」といふ鈴木隊員の叫ひを聞いた一刹那「天皇陛下萬歲」の聲もろ共その場に昏倒してしまつた、同志が駈けつけた時は

＝既に＝遲く洗血淋漓たるうちに鈴木隊員は悲壯な最後を遂げてゐた

▼……▲

警長故鈴木孝政氏は秋田縣仙北郡雲澤村の人

▼……▲

警長故小野田威夫氏は岡山縣御津郡今村仙道の人（寫眞は（上）小野田氏と（下）鈴木氏）

15—6 全日本軍敗る 對米野球

【東京國通】米國職業野球團の東京に於ける最後の試合たる對日本軍との試合は十七日午後二時神宮球場で開始、アメリカ軍十五對六で大勝した、この日全日本軍はコニーマック監督がベンチコーチに當り米軍のフオツクス君が投手、捕手、右翼、一壘、遊擊、三壘と一人で六つの役を演じ其他の選手も各回毎にポジシヨンを代へて萬能振りを發揮した、日本側バツテリーは濱崎久慈兩君である

ルース 四百十呎の長距離打擊

【東京國通】十七日日米野球試合に先立ちエビリス、フオクス、ゲーリツグ、ルースの四選手により長距離打擊競爭を行ひ各選手十本づつ打ちルース四本、フオツクス、エビリス各三本、ゲーリツグ無しの本壘打を打ち最長距離はルースの四百十呎であつた

▲こないだ新設屯でカフエー世界のタカヨさんを見かけた時、いつしよに居たのがキタエさんといふのだつた、髮をキャベツのやうにちゞらしてるそのはへぎはのところが、最近どこかで見たやうな氣がするので、おかしなことがあるものだと考へたら▲辻々にたてゝある新京キネマの繪看板佐渡情話、尾上菊太郎、山田五十鈴主演……とあるその山田五十鈴に似て居た▲と云つたら五十鈴の髮は日本髮キャベツ卷とは違ふし殊に……なんて五十鈴ファンから抗議が出るかも知れないが、なんだかちよつと似て見えたのだからしかたがない▲このキタエさん東京府下吉祥寺のうまれよなんて自分で名乘りをあげてゐましたが▲ある軍人さんがオイ君ンところは怪しからんぞ、世界のサービスがいゝといふ話をきいたんで注文したところが笑つてるばかりで持つて來なかつた……といふのに、あらアサービスは飲むものぢやないわよと、このキタエさんの[illegible]……

聯盟に加入後のソヴエートの役割

國策轉向を楯に背水の三陣

東大教授　横田喜三郎氏談

ロシアは遂に聯盟に加入した、そこで問題が起きる、從來の樣に、資本主義諸國を惡口し非難して、聯盟內に破壞的な波瀾でも引き起すであらうか、それともよくこれと協力して聯盟の目的の達成に貢獻するであらうか、それをこゝで考察して見たいと思ふ、この問題は

第一に ロシアを加入に導いた周圍の客觀的な國際情勢にかかる、この國際情勢についてはここでは、その結論を述べるに止める、それによれば、右の國際情勢はナチスドイツの侵略政策と日本の所謂積極政策がある、西に於いてナチスが勢力を得て以來殊に政權を獲得して以來、ドイツが取らうとしつゝある破壞的にして

侵略的 な政策、東に於いて、滿洲事變以來、日本が取つて來た所謂積極政策、これらの二つは、ロシアから見れば、その安全を強くおひやかすものであつた、それに備へる爲に、ロシアは自然に聯盟に傾き、これに近づき、遂にそれに加入するに至つたのである、はたしてそうであるならば、少くともこの國際情勢の繼續する限りロシアは恐らく

破壞的 な氾濫を引き起すやうなことをしないであらう、素より資本主義諸國に對する從來の惡口や非難をロシヤが急に全くつゝしむであらうとは考へられない、少くとも表面上は或る程度迄、依然としてそれを續けるであらうロシアが聯盟に加入して如何なる役割を演ずるであらうかは第二に、ソヴイエトそれ自身の外交政策にかかる、ソヴイエト政府が成立した最初の頃には、それは資本主義諸國に對して極端にまで挑戰的であり、敵對的であつた、しかし、一九二五、六年頃から、特に最近の三、四年においてソヴイエト外交は著るしい轉向を示して來た、隣接諸國との友好な關係を維持する爲に特別の努力をつくし、一般の國際平和の爲にもある程度の

協力に 應じるやうになつた、殆ど一切の隣接諸國と多數の不侵略及び調停の條約を締結し、聯盟の主催する軍備縮少事業にも參加するに至つたことはこの事を最も雄辯に物語るものに外ならぬ、他方で、聯盟は國際平和の確保を最大の目的とし、軍備縮少、不侵略を中心とする安全保障紛爭の平和的解決の三大政策に依つてこれを達成しようとするものである、はたしてそうであるならばソヴイエトの最近の外交政策は

聯盟の 目的と政策にまさに一致すると云はねばならぬ、同時に聯盟に加入した後において、それは恐らく聯盟と充分に協力し、協調して行くであらうと見なければならぬ

希望に輝く新しき學園

白菊小學校參觀記(中島生)

目覺ましい國都新京の膨脹の現れとして新市街白菊町最高地にその名の示す如く野邊に咲き匂ふ野菊…位置環境、敷地、建物、眺望等々凡ゆる條件を備へて建てられたのが新京の誇りわが白菊町小學校西北約二百メートルの前方にはわれ等同胞の最も崇敬し禮拜の的となる忠靈塔が雲をついて聳へ新京城內外は目の下に見おろし遙かかなた伊通河の向ふには南嶺の高台外域には遠山紅葉をなし國都を圍むこの眺望をむさぼつて四千五百平方メートルの敷地に大講堂を始め廿敎室に十の特別室、正面一棟三階建に兩翼二階建敎室の各設備備品、總て最新式文明力を應用した尋常小學校、初代校長に本溪湖から招いた諫山鄕覩氏を始め篠原、小堀(一學年擔任)岡田、小野寺(二學年擔任)の四訓導を迎へて十一月一日から開校開校早々から一年二年合して恰度二百名(十三日現在一年五十七名づゝ二學級二年四十九名づゝ二學級合計二百十二名で十二名增加‖十三日で十二名增加)

それに西廣場小學校の臨時學校が九百餘名(十五學級)の大世帶なほ今月中には三年から五年までも二學級づゝ新設して都合十學級に增級の運ひになる豫定で近々に訓導も十名ばかり着任される事になつてゐる、講堂から普通敎室、特別室(理科準備室、理科室、手工準備室、手工室、兒童圖書室、標本室、裁縫室、圖書室、衞生室、賣店、煖房室)ベランダー運動場と詳細に案內說明をして下さつた、諫山校長は校內一巡終つて澁茶を飮みほしつゝ創業非常時、校風歷史の創作者として敎育方針を固い決意と自信をもつて語る我々のほこりは建物でもなければ兒童の數でもありません、左樣な外に現はれた形のものでなくよりしつかりした、動かされない第二の國民の養成にあるのです、そしてあの忠靈塔に祭られる我々の先輩同輩の英靈を慰め彼等の壯業建國精神に基いて御國の爲、上御一人の御爲に働き盡す少年を送り出したいものです、創業精神を兒童の頭に打ちこんで立派な校風と歷史を作り上げそして滿洲を育てゆく上にお役にたつ子供を育てたいと祈つてゐます、これから眞の校風を創作するのですから新たな氣持ちで朗らかに建國精神に基いてそして人格的に精神的に底力のある敎育をしたい、そのためには校長始め職員兒童、父兄ともに一心になつてやつて欲しいものです、そんな理由でこん度の土曜、日曜の兩日訓導四名ともに奉天、撫順における新しい學校を參考のため視察にゆきました、學校と家庭の連絡については特に在學兒童の父兄たちとがつちり手を握り合つて父兄方も一心同体となつてもらひたいのですと希望に輝く今後を語られた

シーズン・ダンス 季節舞踊といふふれだしにどんな新らしいダンスかと行つて見たら
何のことやら!レヴィユガールがイモをぶらさげてタアララッタ タタタ

お茶漬にもてる

牛蒡人參の味噌漬

ごぼう、にんじんの味噌漬、これは山ごぼうが最もおいしいのですが□御會では手に入りにくいものですから普通のあまり太くないものを用ゐます、先づ洗つて皮をむき、あくの水につけてあく出しをします、この時あくの水がありませんでしたり水の中に重曹を少し入れるとよいのです、よくあくが出ましたら水氣を切り、晴れた日に一時間位陽に當て普通味噌汁にお使ひになつてゐる赤みその中に漬けておけばよいのです、これは二週間位たつてから頂きます又一週間位で召し上りたいとお思ひになつたらほんのちよつと一分間位ゆがいてお漬けになればよいのです、この時くれぐれも茹で過ぎないやうに……これはごぼうを茹でる時の常識ですが熱湯の中に一てきの酢をおとすと決して黒くなりません、にんじんも同樣ですが、これには紫蘇の葉をざつと鹽でもみにんじんを適當の大きさに切つてその紫蘇の葉にくるみ味噌漬にするとなほおいしく頂けます

珍グロ料理

鼠、鰐尾、駱駝の瘤等々

目下パリッ子連の宴會で斷然人氣を呼んでゐる珍グロ料理、メニューがある、則ちいそぎんちやく、鰐の尻尾、駱駝の腐肉スチウー、犛牛のステイク、ローストライオン等々、惡食もここまでゆけば堂に入つたもの、惡鬼の食卓の樣である、と云はれてゐるが仲々持ててゐる、彼氏彼女等食通の曰く、「ライオンは、鹿肉の香りがあつて、柔かいこと犢肉の如く、誠に結構」と、―尙、此の物凄い御連中は、日常目にふれてゐながら氣付かなかつた鼠を捕へて食膳に上してゐる、右に關し、パリの衞生保健醫の某氏は鼠に關する次の御託宣を發表した、「イギリス人はジタイ鼠を食膳に上すことにひどい偏見をもつてゐるが、鼠は其の味といひ營養價といひ、正に鷄に匹敵する」と

日本刀の話(五)

梅枝町　秦大川　述

然らば村正は一體如何なる師に就き何傳を學んだかと云ふに前にも記す通り確かな文獻記錄がないから斷言は出來ぬが一番首肯し得る說は關の兼村の門人と云ふ說である兼村なれば銘鑑に時代延文とあるから村正初代と時代一致し名さへ兼村門人で村正であるから一致するけれども之れも單に推定に過ぎない位のもので素より充分信を措くに足りはせぬが只關の系統と密接不離の關係にあつた事だけは信ずるに足る美濃鍛冶の居つた多藝郡志津と桑名は殆んど隣接し然も美濃の產物は總て揖斐川を經て伊勢灣に出で昔時桑名は重要な船津の港であつた地理的に云つても決して無關係のものではない第一其の作品に於て頗る共通の點が多い三本杉風の刃紋のものあれば兼定のやうなのたれ亂れもある頃に兼定と合作の確かな物も見た事もある鑑定の掟として村正でイヤの場合兼完へ兼定でイヤの場合は村正いれよとなつて居る新刀古刀大鑑には關の兼永と合作の刀の押形が載つて居る又調物で村正に能く似たものは板倉關の正利正吉の一類で殊に正の字までが村正の正の字そつくりである之れ等は何の關係があつたものか兎角關と密接の關係を力強く物語るものである然かも村正の初代は沸付の皆燒などの狀態一見長谷部と見へるものもあるが時代が後になる程關傳丸出しのものが多い即ち末になつて益々關との關係が濃厚になつたものと看得る終りに村正の切味の勝れた事に就ては古來幾多の實例がある名ある武將名ある劍客が村正を帶ひ實戰に用ひて其優秀な切味を示した面白い話は可なりある餘白がないから之れは他日に讓るが德川全盛期には本阿彌家では村正の折紙添書を書くのを憚り或ひは摺上げ或は銘を潰し又既に無銘になつて居るもの等に對しては悉く平安城長吉の極めを附け居る即ち無銘は長吉の鑑定をすべしと云ふ掟になつて居たからである然るに之れ程幕府を憚つて居た村正に對しても安政頃からすつかり風向が變つて來た攘夷論が盛んに成り遂に討幕論になつた頃から勤王家は好んで村正を求めるやうになり村正の價が俄に十倍以上に飛上つた隱れて居た在銘物が多數世に出たのも此の頃からである筑前の左は初代を大左と稱すこの人は同國の倫實阿の子にして左衞門三郎と呼ぶ隱居後の法號を源慶といひ建治三年に生れ文和五年に歿してゐる壽八十歲正宗よりは七歲若く備前の大兼光より四歲の兄で長義よりは十五歲の兄になる定宗は左より二十二歲の弟で鄕の義弘と同歲であるから左より見れば殆んど子供ほどの年齡になる志津三郎は弘安七年の生れで最も左より十歲下であるさすれば左は正宗の門中第一の年長者である師匠と僅に七歲の違ひであつた左は筑前隱岐濱といふ處に住んで居た正宗は諸國修業して筑前に至つた時左を訪問した其後左は正宗を尋ねて鎌倉へ下りその敎へを受けたといふが此の間の關係師弟といふよりは朋友視せられたものと思ふ左は正宗門といふ中でも比較的同門の者より位置が高かつたらしい己の技術の巧拙を今日に判斷する事は素より難しいけれど正宗十哲といふ人々の打つた刀で名物帳に乘つた刀の數を見れば己の優劣を定める一の參考になると思ふ即ち左の通りである

鄕義弘の刃　二十二振
貞宗の刀　同
左文字　十一振
志津兼氏　六振
大兼光　五振
鄕則重　二振

正宗門の人々は此の通りであるが刀の存在する物の多少にもよる事ではあるが太閤時代は刀劍の最も多い時代で今日のこれではない信長太閤家康初め武將悉く刀劍好で吟味をした時代に多く名物が出來たのであるさすれば名物の多少は己の技術の優劣の參考の一つになると思ふさすれば正宗門では義弘貞宗を上乘とし之につぐもの左文字である安吉は大左の子と古刀銘盡大全にはあり大左が安吉と銘を切つた事もありと記してある本阿彌光悅の銘鑑には左の子を貞吉定行吉貞として吉貞の子を安吉としてある本朝鍛冶考はまた大に違つてゐた左は正宗より年長なりと記しその子を安吉としてゐる兎角大左が安吉と切つた事があるものと見ゆる

日本精神を作興　學國結束せよ

聖旨の萬一に酬ひ奉る

法學博士　松井茂氏談

滿洲事變勃發以來稍々國民精神の **作興** を見るに至つたものは、聊か快心とする所であるが、この際特に我々は大いに反省し、學國一致して、益々日本國民としての眞面目を發揮することが何よりの急務であると思ふ、而してそれには、昔ながらの家族的共同精神を基礎として邁進するときにおいて、政治でも、經濟でも、思想でも、外交でも、軍事でもその實を擧げ得ない方面はないと考へる、家族的共同精神とは、克く忠、克く孝なる我が國体的 **家庭** 國家の根本思想に立脚すべきものである、最近第十五回赤十字國際會議が東京に於て開催され、各國の有力者が多數集まつたが、彼等は大いに我が國体の淵源の深き所以を察知し、驚異の眼で之を迎へてゐる、蓋し赤十字精神は、昔から我國民に自然に存在するのであつて敎育勅語中の「博愛衆ニ及ホシ」がそれである、又一面に於ては **尙武** の氣性に富めるものであつて、これは太和民族の傳統的精神である、今般ロンドンにおける海軍々縮豫備會議に於て、堂々世界に向つて我が公明なる軍縮方針を呼ひかけてゐるのも偶然ではない、平和と尙武とは互に相離るべからざる關係を有するものであつて、我國の外交でも軍事でも、そこに **遠大** なる基調を有してゐるのである、更に又經濟問題の如きも、今や我が貿易は世界市場に雄飛し、國內の勞働問題も、家庭主義に立脚して、經濟上の能率も殊に近年著しく向上しつゝある、斯くて歐米人は經濟上及外交上の二點よりも、我國を理解すべき必要にせまられて、その研究熱は近來益々盛になりつゝあるとのことである、こゝに我々はくれぐれも自己を反省して、我が **國體** の根本義たる家庭國家の眞精神を味はひ學國結束の基礎となさねばならぬ、それには各自がその精神のもとにその行動に對し最善の努力を拂つてこそ一君萬民の我國體も愈々その光輝を放つ所以である、それは經濟生活と離るべからざるものであり、特に經濟思想涵養の著しき今日に於て經濟と **敎化** との融和一致に努力しつゝあるのも敎化を實際化せんとするの意に外ならぬ政治の問題の如きも敎化上最も重要視してゐる所であり、將來一層この方面に向つて出來得る限り躍進せんとしてゐる、要するに益々緊張味を以て之に當り、よく學國一致 **聖旨** の萬一に酬ひ奉ることを期するは國民の當然努むべき責務であると同時に全國の同志諸君が協力一致、萬全の努力を拂はれむことを、國家の爲衷心より希望して已まない次第である

化粧石鹸

良質はグリセリンを含む

化粧石鹸は遊離アルカリや脂肪を含まない化學的純良な石鹸で泡立よく、快香を持つてゐるのがよい、洗顏用としては適してゐるが荒れ性の人はどんな良質のものでも肌が荒れるから、こんな人はアルカリ分のない洗粉を使つた方がいい、これを鑑別するには石鹸の表面を一寸爪で搔き嘗めてみるとピリッと刺す樣なのはアルカリを含み、鹹いのは鹽分が多く油の樣な味は遊離脂肪を含んでゐる證據で何れも宜しくない、甘味があるのはグリセリンを含んでゐるので良質である

滿洲國經濟機構の建設

滿洲の商業發達は外資の助成による

地方產業發達は前途遼遠

滿洲國の經濟機構建設について中央大學敎授三輪末彥氏は次の如く語る

滿洲に於ては元來農業が主であつて商業は從である、其從たる同國の商業が兎にも角にも過去二十有餘年間に於て、今日の狀態にまで進步して來たといふのは實は外資に助成せられた結果であつて、決して舊政權の與り知らざる所である、國內商業にしても、凡そ一般經濟的活動と言ふものは、舊軍閥時代に於ては、所謂官商と呼ばれて居た軍閥系資本家が、獨占的地位にあつて官營の發劵機關を擁して、任意に多種多樣の紙幣を亂發し、之を强制的に流通せしめ且つ回收すると言ふ狀態であつた、即ち事變前に於ける滿洲の金融狀態は、全く無統制亂脈狀態であつて、各省官銀號は軍閥とこれ等官商の私利私欲を充たす機關として利用せられ、不換紙幣を濫發したのである、その各地に通用して居た通貨は千態萬樣であつて實に幣種十五、劵種百三十六にも上つて居たのである既に自家の打算と便宜とのみにて斯かる多種の通貨を流用せしむるのであるからその上騰、暴落、動搖常なく大衆は商民としての生活上の安寧をすら得られない狀態であつた、その根本的に障害となつて居たのは、前述の如く、彼等舊軍閥の飽くことを知らぬ誅求と、官商の魔手が、全滿洲の經濟界を攪亂して居たがらである、若し滿洲が從來の如く舊軍閥と、官商と、而して匪賊の跳梁に、委せて置かれたならば、百年經つても遂に滿洲には、眞の樂土を見ず、我が日本帝國としても對滿貿易上に永遠に大なる憾みを殘すこととなつたであらう、しかるに天は滿蒙の民に蘇生を與へて新生滿洲帝國は出現したのである、滿洲は建國後日尙淺きに拘らず、國礎愈々鞏きを加へて道義國家として儼存するに至つた、而して一旦國礎成るに及んでは幾多の障碍と難關とを排除突破しつゝ前途に大なる光明を約束しつゝ順調に成育して居るのである、斯くして滿洲國の成立は、滿洲國民に取つては、無上の樂土となり我が國に取りては、安全なる經濟的發展を約束する新市場とは成つたのである爾來滿洲の經濟建設は、右宣言の根本方針に基きて企畫し、實施せられつゝあつて、之等の各經濟部門の体系は、既に整備せられ、各部門に亘りて其定められたる計畫を實施して、交通、通信は勿論重要なる產業は着々發展の步を進め一般產業も亦其緒に就きて將來の躍進を期待されつゝある、然しながら、永年に渡りて凡有方面とも荒廢し切つたる同國のことであるから、眞の經濟の開發、產業の發展、殊に地方產業、私經濟の向上を望むと云ふことは到底容易の事ではなく、其完成を見るのは尙前途遼遠であると思ふ

三百萬のサインを求め

產業協働團蹶起す

日本產業協働團の主唱にかゝる勤勞恩賞法の設定促進運動にトップを切るべく起つた大阪府工業團体聯合會では主唱者鵜野久吾君の說明を聽き態度を決定、同一聯合會所屬六千四百の工場を動員し、二十數萬人の請願署名を集める一方、右勤勞恩賞法の趣意書を全國各鑛山並に工場に飛檄し續々殺到する請願署名を取纒め今秋十一月末までには三百萬の全國勞働者の希望としてその設定を實現さすべく意氣込んでゐる

對米問題對策

平和手段で解決

滿洲承認と日米通商關係

駐米特命全權大使　齋藤博氏談（上）

滿洲問題發生の當時に於いて米國では、國際關係には兵力を用ふべきでないといふやうな純理的議論が多く事の實際を認識する事は非常に薄かつた、從つて問題を純理的に見る傾向が多かつたのであるが次第に東洋の事態に對する認識が深くなり、滿洲問題に關しては純理論ばかりではいけぬと言ふことを悟るやうになつた、かやうな次第で米國は滿洲の獨立、日本の協力は余儀ないことであると認めるやうになつたが、滿洲の獨立は當分承認せまいと思ふ、この承認、不承認で面白い事がある、私が歸朝する少し前、日本が滿洲の依賴を受けて二百噸位の砲艦二隻を製造したので、軍縮條約により、その旨米國政府に通知したが、米國よりは何の返事もなかつた、恐らく承認したと言つてよこせば、滿洲國を承認することになるので返事に困つて居るのではないかと思はれる從つて米國が不承認を唱へても滿洲國そのものが發達すれば自然に解決されると觀て差支ないといふのである、まゝ所謂商賣敵といふところから通商問題が戰爭の原因になることはある、ところが日米間の通商は非常に都合よく出來て居るので戰爭の原因になるやうな事が少しもない、米國が日本で生產する生糸の九割を買入れると、日本では米國で產する綿の四割を買入れる、この外鐵、石油、機械、木材等が米國から日本に入り、更に日本からは陶器、茶、雜貨、鉛筆まで米國に行つて居るので非常によくバランスしてゐる南米のブラジルのやうに生產するものがコーヒーのみで軍艦製造代までコーヒーで支拂ひたいなどといふ偏つたことでは困るが、日米兩國間にはそんな偏つたことはない、從つて通商上余り大問題は起らない、鉛筆について面白い話がある、ドイツにヒットラーが出て來たために、日本から米國に鉛筆が行くことになりそのまま鉛筆の木には高野山の杉がよいといふので高野山の坊さん達の懷工合がよくなつたといふので、それはどういふわけかといふとヒットラーがドイツの政權を握るとユダヤ人を追拂つたがドイツの鉛筆の仲買人は大抵ユダヤ人であつたのでドイツ品の輸入をやめて日本から買ふことになり、それが高野山の杉の木にまで影響したといふのである、ところがユダヤ人は日本の鉛筆が安くて良いといふので澤山に買込む、すると今度は米國の鉛筆業者が不平を云ひ出しN、R、Aに賴んで何うか日本製鉛筆を制限して貰ひ度いと言ふことになつたこのやうな問題はチョイチョイ起るが日米通商上に戰爭になるやうな大問題は起らない

運動週間設置を

三商大學長會議に提案か

最近開催された第一回三商大學長會議の結果、本年度より三商大間の對抗競技は休暇前には原則的に行はぬことに申合はせたため從來まで適宜に期日を決定し擧行してゐた運動各部には意外の番狂はせを招來し、弓道、水泳兩部は豫定の如く實施し得ず三商大運動交涉の前途に難色を見せてゐるも、これが打開案として今回運動週間設置の要望が高まつて來た學內にても敎授學生合同の懇親會的同期間を作る意向もあり、創立記念日等を記念式のみに止めてゐる一橋會側の怠慢に非難の聲もあるが最近に至り確聞するところに依れば神戶商大より本年第二回目の三商大學長會議を開催すべく要請され十一月中旬東京商大學內で開催される豫定であるが、同席上では神戶商大側より三商大間の學生懇親機關としての運動週間を新に設置すべき案が提出されるのではなからうか、この種の機關につき東京京都、東北三帝大を調査した結果、三帝大とも四日及至二週間に亘り本月中旬實施すること判明三商大の運動週間設置熱を煽り立てゝゐる

酒の差別待遇も

遠からず解消

地酒も昔の滿洲酒でない

今各地とも新酒の造込みに着手してゐるが新京の本年の釀造石數は約六千石とみられ昨年の釀造三千五百石に比べるときは二千五百石といふ增加であり全滿の本年の釀造は六萬石を豫想され內地の酒造界が大正八年の六百二十萬石を最高として以來逐年減石の一途を辿り昨年の如きは三百五十萬石內外に減じてゐるのに比し滿洲は增石又增石の狀態である、今年もいよいよ酒の季節に入つてきたが本年の釀造狀況について石川千代次氏は次の如く語る

滿洲の釀造業も事變以來大いに進步して內地酒とあまりそん色ない迄に改良されてをります、大正四、五年ころには二萬石以上の內地酒が滿洲に入つてゐましたが今日では一萬石內外に減じてゐるやうです、急激な人口增加によつて內地酒も自然增加するのが當然でありますがこの現象は大いに地酒の面目一新を物語つてゐるものであります、日本でも一昨年ころまでは不況といひながらも五百萬石內外を釀造してゐたやうでありますが昨年は三百五十萬石くらゐに減石し本年は多少增石するやうな氣配がありましたが例の旱害、風水害および東北地方の不作で腰を折つてゐるやうですからこれに比べると滿洲は有難いものです、新京やその他二、三の都市では一流の料亭が地酒を客席に出さないことゝなつてゐますがこれも今は時機の問題で近き將來に必ずこの差別は撤廢されることゝ思ひますなほ奉天では原料米の昻騰で十二月一日から酒の値上げをすることを申合せ同意を求めてきてゐますが私の方では今少し考へて返事をすることにしてをりますので今すぐ値上げをする考へはありません

國運發展と

實業敎育の使命（下）

環境を整理新文化を建設せよ

文部省實業學務局長　菊池豐三郞氏談

生活上　我邦は國土狹小にして天惠に乏しく、衣食住の如く國民必要缺く可からざるものに在つてすら自給自足し能はざる現狀である、例へば食料の如き、近年餘程その狀態が改善されたとは言へ、尙は每年米麥豆類等五六千萬圓の入超を見る有樣であり、又衣料方面に於ては生糸、絹織物は最近頓に發達せる人絹等の需出に依り、貿易上は出超を見せてゐるものゝ、然も國民被服の主要部分を構成する綿織物の原料に至つては、依然として之を

海外に　仰がねばならず、更に住料を見るに、世界屈指の森林國である丈け、前二者ほどの不足は感じないが、それでも建築材料として年年に輸入する木材及金屬材料は相當の巨額に上つてゐる、斯の如く生活必需品が不足を訴へ勝ちな所へ、人口は遠慮なく年每に七八十萬人宛も增加して來る、今昭和七年に於ける本邦

內地の　現住人口は七千萬人の多きに垂んとし、正に明治初年に倍加して居る、我邦の當面する國家的難題の中でも人口問題は其最も根本的なるものの一つと言はねばならない、移民の奬勵に依つて過剩人口の捌け口を海外に求めることは人口問題解決の有力な一方策たるを失はないが、最近諸國は邦人の移住に對して

門戶を　閉鎖する傾向が次第に濃度を加へつつある上、移民思想の徹底を缺く爲めか、或は我國民性が海外雄飛の氣象に乏しい爲か、年年海外に乘り出す移民の數は多くて二萬人を遠く出でない、幾石に水と言はうか、これでは人口問題解決に目藥程の効能すら覺束ない、斯く見て來ると、人口問題解決の根本策としては、どうしても廣く各種產業の

興隆を　計るより他に途はない、而して產業を振興することは裏から言へば、職業の質と量とを增加することである、國民經濟に於ける生產機構を客觀的、物的側面から見たものが產業であるならば、職業は之を主觀的、人的方面から見たものに他ならないからであるところで此の互ひに密關する產業と職業の兩者を媒介し、物的要素と人的要素を綜合するものは何であるか、それは實に

仕事で　あり、勞作である、果して然りとすれば、人口問題解決の鍵は、詮ずる所、仕事を增加するところにあると言はねばならない、然るに仕事なるものは既にあるものではなくして新しく作り出して行くものであり、新たに見出して行くものである、一國の浮沈が產業の盛衰に依存するところ多きは敢て多言を要しないが產業は又人材の活動なくしては到底起ることを得ない、國家の富は決して物資の多寡に存するものでなく、却つて人材の活躍に存するのである

滿洲內の赤化を

阻害するもの

北鐵の賣却交涉に對して

支那共產黨員抗議

北鐵讓渡の交涉も漸く大詰へ近づいたやうであるがダンバウ紙の報ずるところによると北鐵ソ聯側權益讓渡交涉に不滿を抱く在滿支那共產黨員は是に關してソ聯政府宛「嚴重なる抗議」をなし「コミンテルン」に對してソ聯外交家の處置につき提訴したが事にソ聯が北鐵自國側權益讓渡の意向を有するとの報道傳はるや支那共產黨滿洲中央委員會は

＝黨員＝大會を召集し該大會において本問題を審議の上在滿「コミンテルン」代表者に對して抗議を申込むことに決議せるところソ聯從業員及「コミンテルン」代表者等は支那共產黨員を宥め彼等に對して再開せられたる東京會議は決して眞面目なる性質を帶ぶるものに非ず、ソ聯は北鐵權益を眞面目に讓渡するの意志なく目下は單に「外交的」

＝駈引＝を用ひをるに過ぎざる旨言明せるため支那共產黨員は漸く安堵し依然叛徒匪賊等と結んで當地方の破壞作業に從事し赤色中央機關の指令に基き種々叛逆行爲を重ね來りしものなるが最近に至り支那共產黨滿洲中央委員會は東京會議が眞面目なる性質を帶ぶるものにして北鐵讓渡協定の

＝成立＝も間近に迫りたる旨の情報に接して黨員間に非常なる動搖を來しこの程北鐵東部線地方において黨大會を開催し種々之が對策を講じたる結果先づソ聯政府の處置につき「コミンテルン」に訴願することを決議し右の訴願中において北鐵ソ聯側權益の讓渡は支那國民の間に非常なる失望を招き彼等は今次の

＝ソ聯＝側の態度につき極度の不滿を感ずべきにつき支那に對してかゝる態度に出でしソ聯への惡感情は永遠に消えざるべく又ソ聯人が北鐵より引揚ぐることゝなるべく、即ち北鐵は今日まで常に彼等の活動資金の融通元たると共に支那における共產主義の前衛機關たりしものにして之が援助によりてのみ支那共產黨員は滿洲內においてその活動を擴大し中央支那に於て

＝共產＝主義を扶殖することを得たのである、故に北鐵からソ聯人の引退することは支那共產黨員の觀角よりすれば「コミンテルン」の變革とソ聯がその施行を約せる政策の破棄とを意味するものなる旨指摘するに決し訴願狀は莫斯科の「コミンテルン」代表宛發送せるも支那共產黨員は之に滿足せずして更にソ聯政府機關と特に

＝交涉＝するため代表を派遣することに決し右の共產黨代表は匪賊の支援の下に虎林地方より秘かに越境し「ハバロフスク」に向ひたる由にて同代表は之を機會に該地において特別極東赤衞軍總司令官ブリュッヘル將軍に謁見の上同將軍に對しソ聯政府が北鐵讓渡交涉を打切り協定を成立せしめざるやう盡力せられたい旨請願方

＝黨部＝から委任をうけたりと傳へられてゐる然し恐らくソ聯政府としても在滿支那共產黨員の抗議並に訴願に考慮を拂はざるべく、滿洲國における舊政權時代にありては支那共產黨員は「コミンテルン」內に相當重きをなしその活動も目覺ましきものがあつたためソ聯政府も之に注目してゐたが滿洲國の形成と共に彼等は地下深く潜入しその活動も殆どみるべきものなき現在においては莫斯科の同志が滿洲に

＝隱棲＝せる支那の「同志」に意を向けざるに至りしは當然の結果と謂はざるべからず

新刊紹介

日の出（十二月號）

ともすれば浮足たつやうな歲末號どつしり構へた『日の出』十二月號の風格は流石である卷頭を特輯『赤穗義士物語』の堂々たるスタッフで飾つてゐるのは、その一つの現はれであるが、月並な義士物と違つたところに編輯者の苦心を買ひたい　吉川英治の『十五日の記』は、吉良の首級をあげて泉岳寺へ引揚げた四十七士の動靜が手にとるやうに描かれて、新らしく蘇つてくる、小島政二郞の『艷聞大石主稅』は、辛いも甘いもかみわけた苦勞人內藏助の子へ寄する愛情に微笑させられる、『大高源吾と討入日』『少年神崎與五郞』は共に有名な立役者の、餘り知られてゐない一面を描いて興味深い、加藤武雄の『內藏之助とお輕』は艷然たる舞台面を髣髴させる、菊池寬かくて『義士問答』に意味深い示唆を與へてゐるのも、この特輯のむすびとして宜しい『映畫界すつぱ拔き座談會』は、かなりの消息通になれる肩のこらない讀物であるそして又贔負筋には痛いところもある面白い記事だ、來朝の野球團世界選拔最强チームの、その面目を描いた鈴木惣太郞の『本壘打王物語』を讀むとルーズの今日あるのも偶然でないと肯かれて味はひ深い、スポーツ物には、また八幡良一の『日米肉彈決戰記』つてのがある、牡牛と綽名された遠山青年が祖國の榮譽を一身に背負つて米のアンダーソンとの一騎打は食ふか食はれるかの物凄い決死の戰だ　「古今東西ゼイタク全集」をよむと、世智辛い當世が怨めしくなるが近代人には不思議に魅力がある、永見七郞の『大金の山、山、山』ときいただけでは目を廻はす人もあるかもしれんが、成程金塊引揚よりは確實らしい、五十圓で買つた茶ごぼしが二萬五千圓也なんて他人の話としても大いに嬉しいわけだ　朗らかに年の暮を笑ふには鶴見退助の『珍優お笑ひ列傳』『東京珍相談所めぐり』『初戀ものがたり』と賑やかであるが、『初戀ものがたり』といつても何も惱される覺悟もいらぬ、どれもあつと驚かすやうなユーモアたつぷりの失敗談だ、なかにも中村吉右衞門の、戀人と思つたのが、とんだお婆さんだつたりして甚だ愉快だ、實話物では三角寬の『美男の人情强盜』がある、隱し彫の金指輪をめぐつて早くも捲起る美男强盜對大塚刑事の戰ひは子爵令孃の出現となつてこの先どう發展してゆくか余りの奇怪さに次回が待たれる自慢の小說陣は今更ここにいふまでもないこと『源三郞異變』『修羅時鳥』『都會のあるぶす』等の完結を除いて他は翌年へ續くわけであるがこれに新しい顏觸を加へるといふ新年號の豪華さに至つては記者ならずとも、期待させるところが大きいと云はなければなるまい　定價金五十錢　東京、牛込、矢來、新潮社

新版江戸八景

（其ノ上ノ巻）　行友李風氏作　○鶴平他二氏畫

一二四
旗本くづれ　三七
瀧川駿
血親の絡れ（十）

燒けきつた、一軒のあばら家のなかに、四十の歳を聊か過ごしたかと思はれる女が、行儀よく坐つてゐた。――どう見てもこの土地の人とは受とれない上品な育ちだ

頭髪は無雜作に後へ撫ぜつけてゐるが、縞目の分らないやうな着物の上に、袖なし羽織を着てゐるのだが。――均勢のとれた、陶器のやうに、端正な、色の白い顔は崇高な感じを興へる――。

觀音の像に接したやうな、崇高な氣持を興へる四十女だ。――よしある婦人の詫住ひだと云ふ事がこの家の調度品や、この婦人の容貌で、一と目で分る――。

「八重!」

と、低い太い聲が、この家の入口でした。……女の顔色は俄と、一瞬に變はつた。……又、

「八重!」

と、入口から呼んだ。

女は暫時、その身の處置に困つてゐるやうだつたが、直ぐに聲が決したものか、

「はい。」

と、立ち上つた。――

入口から呼んだ聲の主は、一貫子老人だつた。

身体を笠と蓑とで包んで、白髭の杖をついた儘、入口に置物のやうに立つてゐた。

笠や蓑の雪が、解けて、雫になつて、滴々と……。

「お出でなさいませ。」

八重は、その脚へ叮嚀に、挨拶をついた。

「父上様には、お久しうございます。うち絶へて御無沙汰を申ておりますが、いつもながらの壯かなお身体を拜して、八重は嬉しうございます。」と。

八重は、一貫子老人に、挨拶をしたのだが、――老人は一向それに應へる氣配が見えない……

八重は、爐端へ上つてから、ゆつくり挨拶をするつもりでゐたのだが、……老人が無言で、然も直ぐには上りさうもないので、致方なく、その儘で挨拶したのだが、

それでも老人は、上らうとはしなかつた。で、おつかけるやうに、

「爐に火もおこつてゐます。――そこは寒うございますから、お上りなさいませ。」

と、促した。

それでも、老人は默りこくつて入口に立つてゐた

氣拙い沈默が暫時、――蓑や笠から、美しい雫が滴々と滴つた。――。戸外で黑（牛）が鳴いた。

「八重。」

と、一貫子は低く――。

「はい。」

（銀平）

八重は腫物に觸るもうに、おどおどしてゐる。――

「八重。」

「は。」

と、八重は次に、老人がどんな事を云ふやら、とはらはらしてゐるやうだ。

老人は苦り切つてゐる。――軈て

「八重、歸るのだ。――江戸へ歸るのだ。」

と、無表情で――。

「江戸へ……?」

（突然に、何故、どうして）、

と、八重は、訝しげに、父の顔を見守つた。

「歸るのだ。――直用意を!」

老人は除物のやうに、身動き一つせずに、立ちつくしてゐた。

「何にはともあれ、あれまで」

と、八重は、きをかへて、圍爐裡の方へ誘ふた。

「急ぐのぢや!」

と、一と言、老人はきつぱり云ひ放つて、――何にか、默を讀むやうに、睛を動かしてゐた。

戸外で又黑が鳴いた。

十一月十九日　月曜　甲午　佛滅　危　心宿　舊十月十三日

●一白の人　勇進せざれば人後に落つべし企業開店皆吉　甲と乾と寅が吉
●二黒の人　小事も忽せにせず手違を生ぜぬ樣注意せよ　申と辛と丑が吉
●三碧の人　何となく不安に襲はる實直に本業を守べし　甲と丙と寅が吉
●四緑の人　衆人との融和同情を深かめ萬事順調に運ぶ　乙と丁と寅が吉
●五黄の人　諸事停滯し間違ひも起り易き日氣を緩むな　丙と坤と丑が吉
●六白の人　起業計畫總て違算を生じ易し病難警戒せよ　丁と辛と壬が吉
●七赤の人　遠大の謀も跡なき如し證文書付に手違生ず　辛と癸と寅が吉
●八白の人　利は薄くとも本業大切と守るべし失物注意　丙と丁と坤が吉
●九紫の人　隆運の日にて萬事調達するも有頂天たるな　巳と申と庚が吉

大阪商船出帆

門司、神戸（大阪行）
×印二三等船客設備船
▲印廣島寄港
（午前十時大連出帆）

船名	出帆日
×たこま丸	十一月十九日
うすりい丸	十一月二十日
▲亜米利加丸	十一月廿一日
はるびん丸	十一月廿三日
扶桑丸	十一月廿四日
×志あとる丸	十一月廿六日
うらる丸	十一月廿七日
香港丸	十一月廿八日
ばいかる丸	十一月廿九日

切符發賣所
滿鐵沿線主要各驛及各地ジヤパン・ツーリスト・ビユーロー案内所
船車連絡切符（往復切符は汽車二割引、汽船一割引、通用期間二ケ月）
大連、門司、神戸間乘船切符（往復切符は復路運賃二割引通用期間三ケ月）

專屬荷扱所
各地國際運輸會社支店

大阪商船株式會社
大連支店電話四一三七番
奉天出張所電話四〇八九番
新京出張所電話三三一六番

新京の銀座

中央通　一条通　二条通　日本橋通

一丁目
▼鐘屋（電二八六四）

一丁目
▼江戸屋（電二〇七〇）
▼清水商店（電三二二三）

二丁目
▼佐藤呉服店（電二〇三七）
▼サロンロートル（電三〇七二）
▼村岡呉服店（電二一二四）

二丁目
▼酒井商店（電二四六四）
▼中央薬店（電三三八一）
▼乾販賣部（電二三九〇）
▼秩父屋（電二九七〇）
▼エヌヤ洋服店（電二六一九）
▼稲垣呉服店（電四八〇一）
▼深町履物店（電二九八一）
▼金泰洋行（電三三八八）

一丁目

一丁目

二丁目
▼乾寫眞館（電三〇二五）
▼小林履物店（電二三四四）
▼清眼堂
▼甘栗太郎（電二八八七）
▼丸徳商店（電二二三三）
▼フルーツション
▼大和薬房（電二九七一）
▼ワタナベ運動具（電三一五八）
▼金華堂時計店
▼三好野支店
▼やまさ呉服店（電三八〇五）

二丁目
▼峰長春堂（電五四一九一）
▼垣内商店（電三〇九二）
▼横田洋服店（電二一四八）
▼勉強堂（電五五四二）
▼今井薬局（電二九二八）
▼朝日堂（電二五九一）
▼池田商店（電三〇八八）
▼松屋（電五七七四）
▼丸美屋（電二一八六）

二丁目

國利民福を擴充
學振「智」の殿堂
五帝大・研究にかゝる豪華版
期待さる民族の栞

我學界の期待といふよりも國利民福の擴充に邁進しつゝある學振——日本學術振興會本年度後期研究補助事項の重要項目中、研究實施場所は既報の如く全國各地にその輝く學塔が高らかに聳え立つてゐる、就中五帝大に於ける重要研究は幾多擔當中、特筆重視すべきものがあるので次に列擧、共に成果を待たう

（其の四）
雪害低減防止策
雪の物理學的研究
北大教授 中谷宇吉郎博士

「雪の物理學的研究」で補助金二千五百圓を受けることになつた北大理學部物理學科中谷宇吉郎教授の研究內容は「雪片の結晶構造、其の荷電及び其の附着性等を研究して雪の生成機構を考察し又實用上の問題の解決に資せんとするもの」で雪害のために毎冬數百萬圓の多額を費さなければならない北國の緊要な解決問題に重要な示唆を與へんとするもの、同氏の研究は主として雪害の主要原因である雪の附着性と降雪時の短波長無電に影響する雪片の荷電の研究に注がれるが教授は一昨年からこの研究に着手し昨冬は十勝岳の雪を材料に結晶模樣の分類を完成し、先頃漸く實驗室が新成したので今冬は同教室の助手四名と學生二名が參加して本格的研究を始めることになつた中谷教授は語る

雪害にも種々あるが主なものは鐵道の不通とか飛行機の航空不能とかの交通上の被害と森林關係の產業上の被害等があるがこれはみな雪の附着性が原因になつてゐるもので、それは雪の結晶構造が主な導因になつてゐる、之に就いて面白いのはスキーのワックスの作用で山に登る時は雪が附着し降る時は雪がつかないと云ふ現象であるがこれを物理學的に云へば雪の固体に對する靜止の摩擦係數と運動の摩擦係數との差が大であると云ふことである、今冬はこのスキーのワックスの作用に就いて研究してみたいと思つてゐる、雪片が正負の電荷を持つことは從來にも知られてゐたが電場の上に雪を降すと雪が二股に分れて正の電荷を持つ雪片は陰極に負の電荷を持つものは陽極に吸引される、實驗でこれを知ることが出來る、この雪の荷電は短波の無電に影響するもので今冬は軍隊から無電發信器を借りたからこれでこの實驗もやることになつてゐる

新京忠靈塔建設に
精根を打ち込んだ清水組
支店次長 黑岩正夫氏談

帝國生命線の確保、友邦滿洲帝國建國の人柱となつた人々の英靈を祀り、その功績を永遠に傳ふるため關東軍參謀副長岡村少將を委員長とした忠靈顯彰會の事業、全滿五ケ所に建立する忠靈塔の一つ新京忠靈塔は、新京での最高地西公園外北安路に清水組の請負で本年四月三十日起工、本月十五日竣工を告げたので、愈よ來る二十一日午後四時から竣工式を兼ね事變殉職犧牲者陸海軍、大使館、關東廳、滿鐵關係を含む約三千名の納骨式を擧行することゝなつたが右忠靈塔建設請負清水組新京支店次長黑岩正夫氏の工事概要を語るところ左の如くである

新京忠靈塔工事概要

一、構造概要
忠靈塔高さ地盤より約百二十尺、煉瓦造一部鐵筋混凝土造外壁花崗石貼付內部壁天井ラフコート及スタッコモルタル塗 外に附屬建物四棟

一、施工期間
昭和九年四月卅日より十二月十五日迄

一、清水組施工方針
本工事請負入札に際しては刻下の時局に對する當建設工事の精神を酌み、又其の基金が一般淨財の寄附金による點よりして、我清水組としては豫め本社の了解のもとに特に全然營利的觀念を離れ、最も合理的なる積算方法によりて入札したものである、幸ひ此の光榮ある歷史的建造物の施工は我清水組に下命される事となつたが工事着工後も現場關係者一同良く上記の精神を體し、誠心誠意、出來榮の優秀と工期の嚴守に向つて邁進したる結果は茲に月余の余裕を置いて工事の完成を見るに至つた次第である顧れば業界の最繁忙期たる夏期に於て稀に見る長期の降雨に遭遇し材料の運搬に工事の施工に尠からざる痛擊を與へられ一時は豫定通りの完成は殆ど覺束無きかの杞憂を抱かしむるに至つたけれども、克く之等の困難を打破し今や殆ど二萬立方尺に近き大石材工事を見事に完了したのは一に監督官の指導宜しきを得たのは勿論なるも、又、清水組の當初より施工方針たる奉仕の精神即ち營利を度外視せる協力一致の賜物であると今更乍ら痛感する次第である

ニッポンタロウ 忍術の巻

(1) オリヤ〳〵トオドロイテキルト、サスケノスガタハマッタクキエテ、ソノカハリヒヨツコリ、イシノオヂゾウサマガアラハレタ。ナルホドコレハベンリナモノダナ、アハナニカモツトホカノモノニカハツテミセテクダサイ……

(2) ト、イフヒヨウシエオヂゾウサマノスガタハキエテ、コンドハ、オホキナガマガエルガアラハレタ。ゲロツ、ゲロツ、ゲロツートナキナガラ、イマニモタロウヲヒトノミニシサウニ、ノツリ〳〵ト、ハツテクル……

ラヂオ欄

十九日（月曜） 新京

午前の部
- 六、五〇 ラヂオ體操（東京より）
- 七、一〇 ラヂオ體操（滿語）
- 八、三〇 經濟市況（東京より）
- 八、四五 天氣實況（奉天より）
- 九、三〇 演藝（レコード）（日滿語）
- 一〇、〇〇 料理獻立（日）（奉天より）
- 一〇、四〇 經濟市況（東京より）
- 一〇、五九 時報（東京より）
- 一一、〇一 經濟市況（東京より）
- 經濟市況（大連より）
- 一一、二〇 經濟市況（日）
- 一一、三〇 ニュース（滿）
- 一一、四〇 ニュース（東京より）

午後の部
- 〇、〇〇 經濟市況（大連より）
- 〇、一五 ニュース（日語）
- 一、〇〇 演藝（滿語） 艶春院 金 錄
- 二、〇〇 經濟市況（大連より）
- 二、二〇 家庭講座（滿語） 實業部權度局 馬 士 鶴
- 二、四〇 日用品値段（日滿語）
- 二、五〇 經濟市況
- ニュース（東京より）
- 三、二〇 ニュース（日語）
- 三、三〇 經濟市況（大連より）
- 三、五〇 經濟市況（日語）
- 四、〇〇 ニュース（鮮語）
- 四、一〇 ニュース（滿語）
- 四、二〇 滿語講座 講師 高宮盛邁
- 四、四〇 日語講座（奉天より）同 近藤喜助
- 五、〇〇 子供の時間（哈爾濱より）
- 五、三〇 氣象通報
- 五、三五 番組豫告（日語） 氣象通報
- 番組豫告（滿語）
- 六、〇〇 ニュース（東京より）
- 六、二〇 政府公報（滿語）
- 六、三〇 講演（日語） スケートを志す初心者のために（一） 大滿洲帝國体育聯盟理事 奥 勝 久
- 七、〇〇 俚謠（東京より） 關千佳子外
  - 唄 長尾マキ子 尺八 菊地淡水
  - 一、イ 柏崎おけさ節 ロ 伊那節
  - 二、イ 米山甚句 ロ 小諸馬子唄
- 七、二〇 東西寄席めぐり（東京より） —麻布十番倶樂部より中繼—
  - 一、うそつき彌次郎 柳亭左樂
  - 二、世直し 柳家つばめ
  - 三、厄拂ひ 桂 文樂
  - 四、圓タク 三遊亭圓花
- 八、二八 時報（東京より）
- 八、三〇 ニュース（東京より）
- 八、四五 ローカルニュース（日語） 國民の時間（滿語） 滿洲國石油專賣論 專賣公署々長 姜 恩 之
- 九、一五 演藝（滿語） 艶春院 少 雲
- 九、三〇 ニュース（滿語）
- 九、四〇 ニュース（英語）
- 九、五〇 ニュース（露語）（哈爾濱より）

新刊紹介

雄辯 十二月號

◇「雄辯」十二月號に出てゐる新年號の豫告を見ると物凄い附錄や特輯の大計畫があるらしいが、その新年號への前哨戰、すばらしい投球の前のワインドアップ、賑やかな前奏曲がこの十二月號そのものだ

◇宇垣一成の『朝鮮の將來』をスクープしたのも偉いし、「陸相林銑十郎論」「兵學校時代の兒玉秀雄論」「新拓相岡田首相」とビッグスリーを並べたのも大出來だ

◇大學生討論に、日本大學對立教の對戰で「國際結婚」を取上げたのも、この學校柄甚だ面白いものがある

◇「軍縮豫備會商の解剖」が出て「農村の大災害とその對策」が出てゐるのは時節柄注目されるが、辯護士の一流所を集めて「あの話この話辯護士座談會」と出たのは、着眼甚だ珍重すべきものがある

◇座談會あたりを賑はすには最も材料の多い司法關係、法廷の噂話から、人生の側面を解剖する試みは、もつと早く企てられてよいものだつたその意味でこの記事は、待望の快篇といへる

◇辯論記事、創作欄、また豐富、年末大賣出しを質でゆく感が誌面一杯に躍動してゐる

鮮魚小賣相場

品名	相場	品名	相場
活鯛	七五	チヌ鯛	三八
小鯛	六一	カツオ	一七
ブリ	二一	ヒラス	二一
サハラ	三二	スヽキ	一二
サバ	一八	ヒラメ	一四
ボラ	一八	キス	一六
コノシロ	二〇	イワシ	一〇
マナカツ	六五	ハゲ	四五
オコゼ	二六	ムツ	一五
サヨリ	四五	車エビ	三〇
タラコ	二一	カスコ	三六
アラ	二〇	サケ	一四
カニ小	五二	ホタテ	三四
カマボコ	七二	シジミ	六
カキ	二五	アワビ	六〇
ナマコ	一五	氷シラオ	一〇
アナゴ	二六	ハモ	二〇
カニ	二〇	サヤエビ	八五
甲イカ	三五	イヒタコ	二一
タコ	二六		
切身相場			
マグロ	一二〇	ブリ	四二
ヒラス	四二	サハラ	六〇
ヒラメ	三〇		

胃腸
榮養
わかもと
若素
特許專賣製法
慢性胃腸病の新生物療法
胃腸組織の賦活强化
新生物製劑若素（わかもと）の出現は、複雜なる症狀と、執拗なる經過に陷り勝ちな、慢性胃腸病の治療に新生命を開拓した。即ち在來の化學製劑の如く、單に對症的效果を果すに止まらず、その含有する多種活性酵素、ホルモン性物質の總和作用が、衰耗せる胃腸細胞を賦活更生して、之を健全に引戻し、消化、吸收、排泄の機能を根本的に正常化すると共に、强力なる腸內制腐、殺菌の作用をも發揮するから、從來、數種對症藥の配伍、又は反覆投與を要したる胃酸過多、胃アトニー、胃下垂、胃擴張、胃潰瘍、胃腸カタル等、各種の慢性胃腸病に、若素（わかもと）は只一劑を以て、よく適切な奏効を見る。
又若素（わかもと）の營む細胞賦活作用は、ある種蛋白體の注射による非特異性刺戟、或は傳染病豫防注射の目的たる特異性免疫とは異るも、稍それに類似せる作用に基き、溶菌性物質、その他强力なる抗體を人體內に生成するを以て、危險なる消化器系傳染病、結核病の豫防にも有効な事が期待される。
食慾增進と衰弱の恢復
若素（わかもと）は、十數種の活性酵素を含み、獨自の作用を發揮して、衰弱疲憊の胃腸細胞を振起更生せしめ、ホルモン性物質、ヴイタミンB、等々の作用もこれに協和して、官能的に著き食機の昂進を齎すから、食慾、消化ともに消化して再起を憂慮さるゝ如き慢性胃腸病者にも、本劑を投與すれば、旺盛なる消化液の分泌を見る。
從つて、日常食物より體力增進に必要な榮養素を、多量に吸收せしめるに加へて、脂肪、アミノ酸、ヴイタミン、燐、鐵、カルシウム、ヌクレイン等、人體十五元素の大半に及ぶ元素及び榮養素を、若素（わかもと）中に含むを以て、榮養狀態の向上は一層促進され、着々と衰弱を恢復して、治癒に至らしめる。佛國の大醫ボアス博士が、若素（わかもと）の主薗を目して「これこそ食慾素である」と驚嘆したのも道理である。
下痢便秘の原因的消退
慢性下痢と、常習便秘は、治癒を遲延せしめ、全身機能の衰退を招致する腸の二大疾患であるが、若素（わかもと）は此の何れの治療にも推奬される。下痢は食餌中毒による腸管細胞の運動過敏、分泌過剩を主因とするが、若素（わかもと）の活性酵素は、腸內で生化學的に强力な乳酸を醱酵して、整腸、防腐、殺菌作用を遂げる一方、若素（わかもと）中に含む神經榮養素の作用もこれに協和して、合理的効果を收めるのである。併もその下痢消退の作用は從來用ひられし激性なる藥物と異り、副作用なく、連續服用せしめて益々腸を强壯ならしめる。——これ主として若素（わかもと）の特長たる細胞原形質賦活作用に基くものである。
腸管の運動弛緩、水分の分泌過少より起り下痢の症狀と相反する便秘が若素（わかもと）によつて治癒せらるるのも、畢竟この若素（わかもと）の特長たる「細胞原形質賦活作用」による。——根本より觀察すれば、下痢、便秘は何れも腸管細胞の機能異常より發せる同一疾患であつて、若素（わかもと）は實にこの機能異常を正常に復せしめる藥である。
小兒消化不良の二元的治療
乳小兒の消化不良は、只消化器だけの障碍でなく、全身的の榮養並に機能障碍、發育不良を伴ふを以て、屢々重篤なる狀態に陷る。從つて處置は敏速にして過りなきを要するや論を俟たないが、小兒科の權威、小田美穗博士は、その適切なる療法として若素（わかもと）の投與を推奬して曰く。
『余が乳小兒の腸疾患に若素（わかもと）を投與せる實績を見るに、綠便粘便、便秘、下痢は、多く數日を出ずして輕快し、殊に牛乳、ミルク、重湯等、人工榮養兒の哺育料中に若素（わかもと）を添加すれば、消化を助けて便を整へ、且つ著しく發育を促進するは既に吾人が既往に於て例證せる處である。——若素（わかもと）は發育未完の纖弱なる乳小兒の胃腸にも化學藥劑にみるが如き副作用がなく、腸疾患を病原からよくし、且つ發育を促進する効の著しいリジン、ヒスチヂン等をも含有してゐるので、乳小兒の腸疾患、——綠便、粘便、下痢、便秘——並に發育不全には、最も適切な生物學的藥劑である。』と。
WAKAMOTO
わかもと
藥價低廉
粉末三十日量
錠劑三百錠入
一圓六十錢
發賣元
株式會社 榮養と育兒の會
日本・東京
振替口座東京一七〇〇番
適應症
慢性衰弱症
肺炎・肺結核・腸結核・肋膜炎・カリエス・貧血・脚氣・神經衰弱
胃腸諸症
胃腸カタル・胃酸過多症・胃アトニー・胃擴張・胃潰瘍・食慾不振・便秘
虛弱乳幼兒
消化不良・綠便・粘便・虛弱人工榮養兒・腸カタル
姙産婦衰弱
惡阻・産前産後の衰弱・乳汁分泌不足・胎兒の發育
疲勞老衰
中年期衰弱・早老・スポーツ勞働、精神作業のエネルギー補給